

其の間僕は眠れたような氣もしなかつた。

海は外風てゐて、波は隠やかではなかつた。

頭に炭酸瓦斯が一杯になつたようで、胸がムカムカする。

人生に酔つ拂つて精神病者になつたものが、船に酔ふなんて、人聞きが悪いとは思つたけれど致し方もない、ローリングが激しいのだ、

瀬戸内海を出てから、海は益々荒れた。

豊豫海峡をなす爲に、象の鼻のように、十三里も突き出てゐる佐田ノ岬を、人々はお鼻と稱して

平常でも大平洋の汐と、内海の汐とが打つかり合つて、二間ばかりも段違ひに渦を巻いてゐる。

此處を曲らなければ、僕の故里へは舟はつかない。

何とした事か心臓が破裂しそうだ。

女や子供は死んだようになつてゲイ／＼吐いてゐる。

僕は意を決して長濱へ上陸する事にした。

解船がヒツクリ返る程揺れた。